



静岡南幼稚園に 入園して

「手間暇かけて育ててくれる！」

それが静岡南幼稚園

卒園児・在園児の父

こんなはずじゃなかった！

私は自分が巣立った地元の幼稚園を訪れて、思わず心の中で叫んでいました。

長男が3歳、幼稚園入園を翌春に控えた頃のことです。

誰しも、幼児期の思い出は楽しいもの。お友達ができて、仲良くなって、いっぱい遊んで、いっぱい笑って、ケンカして仲直りして・・・

そして、そんな楽しい思い出の舞台・・・私の場合は、実家近くの幼稚園でした。

私の通った幼稚園は、園庭が広くて晴れた日はいつも外遊び、園バスはなく全園児徒歩通園でしたので、とにかく常に走り回っていた感じでした。

また、私の両親は共働きでしたが、当時非常に珍しかった延長保育をやっている幼稚園だったため、これまた当時非常に珍しかった「保育園」に入れなくても何とかなったのでした。

長男の幼稚園をどうしようか・・・そう考えた時、自分の中で幼児教育の理想であった自分が通った幼稚園を訪れることにしてみたのでした。

しかし。

自分が巣立った幼稚園は、変わってしまっていました。広かった園庭は区画整理と園舎の増築ですっかり狭くなり、賢そうな園服のまま外遊びしているような子は誰もおらず、習い事が充実しているのが売りになっている様子。通園は近所に住んでいても園バスのみ。その園バスは路線が決まっていて、乗り降りするのも何人かまとめて決まった場所ということになっているそうで・・・
こんなはずじゃなかった！

私は自分が巣立った幼稚園を訪れて、思わず心の中で叫んでいました。

そういう時代なのでしょう。

子育ても幼児教育も、効率よく実効を上げましょう、と。

そして、幼児期から何でも英才教育で教え込んでいきたいという要請には、その方が理に適っているのかも知

れません。

実際、幼稚園選びをしていると、イマドキどこの幼稚園もそんな感じのようです。

でも、探せば見つかるものなんですね。

広い園庭で、子どもたちが走り回っている幼稚園が。
運動着から着替えて可愛らしい園服になっても、外遊びを叱らない幼稚園が。

習い事よりも、園外保育や遠足を頻繁に計画して外遊びさせる幼稚園が。

徒歩通園児が門をくぐるたび、園バスが到着するたびに園長先生自ら「おはよう！」と声をかけてくれる幼稚園が。

可能な限り自宅直近まで園バスを着けて、一人ひとり乗せ下ろししてくれる幼稚園が。

私が探して見つけた幼稚園、静岡南幼稚園。

効率よく、ではなく、手間暇かけて子どもたちを育ててくれる幼稚園。

今は小学校5年生になった長男から聞いてみると、静岡南幼稚園で毎週のようにあった園外保育や、驚くほど遠くまで歩いた遠足での体験が、小学校でこの地域について習ったときに大変役立ったようです。

いや、彼の本心は、今も静岡南幼稚園でしょっちゅう園外保育や遠足に出かけて楽しそうにしている妹がうらやましいようなのですが・・・





静岡南幼稚園に 入園してよかった

卒園児・在園児の母

今年小学3年生になった娘と年長の息子、そして今年入園した娘の3人が静岡南幼稚園でお世話になっています。

長女の幼稚園を考える時に、見学に行かせてもらい、その時に目にした子ども達が生き生きと活動している姿を見て、入園を決めました。

入園当初は私自身も初めての事で「友達できるかな？とか行きたくない！とか言わせると困るな・・・」と不安ばかりでした。でも、幼稚園から帰ってくると「今日は〇〇したんだよ～楽しかったよ～」と園での話を一生懸命話してくれる娘を見て、静岡南幼稚園を選んで本当に良かった！と思いました。

小学校に入学してからも幼稚園の遠足で鍛えられたせいか、嫌がらず、毎日元気に歩いて登校しています。

また、一人ひとりの個性を受け止める優しい心もあり、3年間の幼稚園生活に感謝しています。

年長の息子、年少の娘も毎日園で覚えた歌を歌ったり、手遊びを見せてくれたり、「今日は〇〇したよ！」と色々報告してくれます。二人とも性格は違いますが、それぞれの個性をつぶさず、大事にしてくれる幼稚園を卒園し、

成長していくのが今からとても楽しみです。静岡南幼稚園を選んで本当に良かったと思います。



久しぶりの幼稚園。

やっぱり楽しい！

在園児の母

長男が静岡南幼稚園を卒園して3年が経ち、今は次男が年少でお世話になっています。

久しぶりの幼稚園になります。以前と変わらない園の様子に安心して次男を入園させることが出来ました。

先生方のお話から、園全体が小さな命を預かることの責任の重さをきちんと考えていることを色々な場面で実感できました。その為、子ども達が幼稚園へ行っている間に自分がやっていることに集中して時間を使うことが出来ています。

また、年少だと子供の成長にまだ差があることが多い時期ですが、先生が子ども一人ひとりの個性を良く見て理解して保育して下さっているところも安心できる一つです。集団行動が苦手だった我が子も入園してすぐ「幼稚園楽しい！早く行きたい！先生大好き！」という言葉を毎日言うようになり、家族で驚きました。

そして先生方もみんな楽しそうな笑顔で子ども達と一緒に遊んでいる姿もとても印象的でした。静岡南幼稚園の先生方を見ていると、本当に子どもが大好きで先生

になったんだろうなと思える先生方ばかりです。それと家庭ではなかなか実感させてあげる事が難しくなった季節の行事なども園行事にたくさん盛り込まれており、子どもも楽しみにしています。

泥んこや絵の具がいっぱいついた作業着や体操着を持って帰ってくると、「ああ今日もいっぱい楽しく遊んできたんだなあ」と思って「よかったね」と子どもに声をかけています。長いようで短い3年間、静岡南幼稚園で楽しい経験をたくさんしてほしいと思います。



「キラキラの個性 大発見」とは？

卒園児・在園児の母

もしかしたら主人が転勤になるかもしれないからと、長男の幼稚園選びを4月入園の2ヶ月前になっても真剣にやっていなかった我が家でした。

そのくせ理想だけはあって「なるべく自宅から近い」「園バスが自宅近くまで来てくれる」「制服がかわいい」「園庭が広い」など、正直私は、その幼稚園の教育理念とか教育内容とかよりも外見で選んでいました。

3月に入り、転勤の可能性がなくなったのでようやく絞り込んだ幼稚園に問合せです。

半ばこの園にしよう決めていたある幼稚園を訪れ、園長先生とおぼしき方の話を伺うと、園バスはあるが決められた場所まで歩いて行かなければならないことを

告げられました。集合場所は大きな道路を渡らなければならず、何とかありませんか？と相談しても「それは決まっていることですので」と一蹴されてしまいました。

3歳の長男の手を握りながら、トボトボと帰宅したので今でも覚えています。

そんなことのあった週末、幼稚園の中には入れなくても外から見てみよう、車で数件の幼稚園を見て回りました。当時2ヶ月の次男がぐずり始め、もう帰ろうとしていた時たまたま白い壁の幼稚園の横を通りがかりました。

それが静岡南幼稚園でした。

何よりもまず広い園庭に一目惚れした私は、月曜日になるのを待ってすぐに問合せしました。「ぜひ遊びにいらしてください」と言われ、くじゃくのお部屋で長男が嬉々として遊ぶのを横目に先生のお話を伺いました。心配だったバスの話をすると、「もうルートが決まっていますけれど、何とかなるしょ！」

とバス担当の先生とお二人で地図を見ながら真剣に考えてくださいました。

今思えば、卒園式を間近に控えたお忙しい時期に駆け込みで伺ったのにもかかわらず、そんな神対応をしてくださったのです。

帰り際、「ご主人とも相談して・・・」と言われましたがもう心は決まっていた。

それから入園式まではバタバタでしたので、パンフレットはいただいていたが教育理念やら教育内容など読む暇もありませんでした。

幼稚園生活がスタートし、長男は嬉しそうにバスに乗って通いだしました。帰ってくるとかばんの中には汚れた体操着とおもらしパンツが…時には何だかよくわからない、折り紙で造った何かを自慢げに持って帰りました。しかし毎日張り切って通園していたので親としても安心して送り出していました。

そんなある日、近所の電信柱をふと見ると静岡南幼稚園の看板が・・・。

「キラキラの個性 大発見」

ふ～ん、そんなこと書いてあったのか。でも、イマイチ意味がよくわからないな。そう思っていました。

しかし、あらためて考えてみると担任の先生は、小さなブロックを最後の一つまでしっかり片付ける彼に「りっぱなおかたづけマン」と言って褒めてくれました。おっとりして口数の少ない次男の時には、園で飼っているインコをとっても可愛がっていて一生懸命にお世話をしていることを聞きました。その先生は「これは是非お母さんにお話しなきゃ！って思っていたんです！」と目を輝かせてお話してくださいました。そして、次男を「とっても気持ちの優しい子ですよ」と教えてくださいました。

その時に私は、ハッと気が付いたのです。

静岡南幼稚園の先生方は、親でも気付かない、子どものキラッと光る一瞬を逃さず見ていてくれるんだ！と。

小学5年生になった長男は、今でも整理整頓のできる子です。そして小学2年生になった次男の夢は、動物に関わる仕事につくことです。

親からしてみると短所に見えたり、不安に思っている所を、南幼稚園の先生はそれを単に悪い点として見ることはありません。

そして、一人ひとりの子どもが持つ「キラキラの個性」を常に大発見してくれているのです。



3人とも静岡南幼稚園が大好き！

在園児の母

長男が満3歳で入園してから、静岡南幼稚園にお世話になって8年目になります。うちの子たちは全員幼稚園が大好きです。

風邪で幼稚園をお休みしている時も、「あしたはようちえんにいける？」と言ったり、夏休みは「あしたはようちえん？はやくいきたいんだけど！」と毎日のように言っていて、幼稚園が大好きなのだなあと感じていました。

こんなに幼稚園が大好きになったのは、全て先生方のおかげだと思っています。朝、笑顔でバスのお迎えに来てくれて、一緒に遊んでくれる時も元気に本気で遊んでくれて、悪い事をした時は、愛情を持って叱ってくれて、不安になっている時や、困っている時は真剣に話を聞いて考えてくれて、全てが子どもの為、それと同時に親の

心のケアにまでも気を配って下さります。

そんな先生達との園生活は、子どもにとって楽しい時間以外の何物でもないと思います。

遠足や園外保育にたくさん連れて出かけたり、畑で野菜を育て収穫し、みんなで食べたり、広い園庭で思いきり全身泥だらけの泥んこ遊びをしたり、絵の具まみれになって遊んだり、幼児期にこそやらせたいことを静岡南幼稚園ではすべてやらせてもらえて、感謝しかありません。

この様な経験と、先生からも愛されているという事を日々体感していくことで、それが自信となって小学校での力になっていると思います。

静岡南幼稚園に育ててもらって、本当に良かったと思っています。



初めて幼稚園に入った時の

息子の笑顔が忘れられません！

在園児の母

静岡市外に住んでいたため、静岡市の幼稚園は知りませんでした。引っ越しが決まってから願書を出すまでに幼稚園を探す時間はあまりなく・・・どうしようかと思っていた時、たまたま家の近くを幼稚園のバスが通り、

見学してみようかなと思いました。

初めて園に入った時、息子はどういう顔をするのかな・・・と思い見ていたら、すごくいい笑顔をしていました！今でもはっきり覚えています。その時、きっとこの幼稚園で息子は楽しく過ごせると確信しました。また、外で遊ぶことが大好きな息子にとって広い園庭は魅力的でした。そして、先生も息子に「良く来てくれたね！」と笑顔で声をかけて下さり、とても嬉しかったです。

入園当初は泣きながらバスに乗っていました。そんな姿を見て不安や心配もありましたが、すぐに慣れてお友達もできたようで、帰ってくるとお友達の名前を覚えてくれたり、「今日ねー」と楽しそうに話してくれるようになりました。

幼稚園では家では出来ないような遊びを思いっきりさせていただいたり、園児が楽しめる行事も季節ごとあります。遠足や数々の園外保育でたくさん歩き、ありがたいことに体力もかなりついてきました。

そしてなんととっても静岡南幼稚園の先生方は園児に負けないうらい元気いっぱいです。どんな行事も楽しく子ども達と同じ目線でいてくださるこそそのびのびと園生活を送っていけるんだらうと思います。

これからもこの広い園庭でゆったりのんびり過ごし、キラキラの個性を大切に、成長していく姿を見るのがとても楽しみです。

